

授業科目名 (英文名)	公会計総論 (経営学部・専門科目) (Introduction to Accounting for Governmental and Nonprofit Entities)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	都築 洋一郎	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>公会計 (政府、公営企業、第三セクターおよび民間非営利組織を含む、広義の非営利組織のための会計) は、企業会計 (営利を目的とする私企業のための会計) と同様に、ミクロ会計の一領域をなすものである。概論科目である本講義は、広義の非営利組織のための会計に共通する基礎に対する理解を深めることを目的とし、公会計の各論科目である、「政府会計論」「公益企業会計論」「NPO会計論」の学習のための指針を提供する。本講義の達成目標は、企業会計と公会計の基本的な考え方の異同を習得することである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本講義では最初に公会計の定義や適用領域について説明する。次いで各組織の役割および活動環境の特質を概観し、企業会計と比較しながら、公会計の特徴について説明する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 公会計の定義および適用領域 3. 各組織の役割および活動環境 4. 公会計改革の背景と概要 5. 会計理論の構築方法 6. 意思決定有用性とアカウンタビリティ 7. 公会計情報の利用者と彼らのニーズ 8. 公会計の報告目的 9. 公会計の報告目的 - 企業会計の報告目的との比較 - 10. 公会計情報の質的特性 11. 各種組織の決算書類 12. 各種組織の決算書類 - 企業会計の決算書類との比較 - 13. 公会計における業績評価 14. 諸外国における公会計制度改革 15. 本講義のまとめ 16 回目 評価 (達成度の確認) 		
テキスト	必要に応じて資料・レジユメを配布する。		
参考文献	瓦田太賀四・陳琦・都築洋一郎『政府会計の進展』清文社。(学術情報館所蔵) 亀井孝文『公会計制度の改革 第2版』中央経済社。(学術情報館所蔵)		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 企業会計と比較しながら、公会計の基本的な特徴を説明できる者に単位を授与する。本講義の達成目標の達成度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 学期末試験 (85%) と授業中に行うアンケート等による授業への参加状況 (15%) を基準に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>本講義では、企業会計会計制度と比較しながら行うため、簿記論および会计学総論を履修済みであることが望ましい。各回の授業は前回の授業を踏まえて行うため、必ず毎回授業内容を復習しておくこと。わからない点があれば必ず質問すること。また日頃から授業に関係するニュース記事 (政府の財政や会計、企業会計に関する記事) を読むようにすること。</p>		
実践的教育	該当しない		

備考

担当教員の専門は公会計分野であり、企業会計との比較に関心がある。この視点から本講義を行う。